



左上、目の前には公園があり、緑側には穏やかな空気が流れている。／左下、旅館の客室のような和室。襖紙や飾り引手など細部までこだわっている。／右、洗面室やキッチンなどにはモダンなデザインのタイルを取り入れている

左、掘りこたつのカウンターは2人並んでも余裕がある。／右、玄関から入ってすぐのところにキッチンがあるカフェの様な間取り



右、トイレには意匠性や機能性を高める腰板やカウンターを設置。／左、脱衣室も広さを確保。ハンガーパイプを取り付けられ洗濯物も干せる



右、浮造り仕上げの床は肌触りが心地よく直接座ると心地よい。／上、障子を閉めたときに高まり空間の効率も高まる



繊細な大川組子をはじめ日本の伝統美を取り入れる
 細身の土地だったので、当初は縦長の間取りにして1階のすべての部屋を縁側で繋げたかったけれど、都市計画上の制限があり、それが叶わないことがわかり、L型の間取りに変更。限られた敷地内で、最大限に思い描いていた純和風の家に確保した。

Company Profile

株式会社 ハウスランド社
 吉木事務所

福岡県筑紫野市大字吉木344-1
 TEL 092-922-6771
 https://www.h-land.jp

●詳しい情報はP000に掲載

デザイン性と機能性
 どちらも追求した家づくり

一方、2階には主寝室と子ども部屋があり、キッチンの上部には切妻屋根の屋根裏を活かしたフリースペースを設けた。障子を閉けるとリビングが見下ろせる造りとなっている。

新築でありながら、どこか懐かしさを感じるのは、純和風を追求したからこそ。一方、屋根断熱と高い断熱性を持つ外壁のスパイน์漆喰仕上げで夏は涼しく、冬は暖かいという。また、1年を通じて吸放湿性が高く快適な空気環境を維持できている。「この冬も朝2時間だけ暖房を入れましたが、1台のエアコンでははすべての部屋をカバーできませんでした。設置してくれた電気やさんからは「足りないんじゃない?」と言われたけれど、十分温かいので驚いています」と、奥さま。純和風デザインと、機能性を高める工法や素材のどちらも実現した家づくりに夫妻は大満足の様子だ。

を実現させることにした。また、間取りを決めていく中で重視したのは家事動線。浴室やキッチンから勝手口までの動線を短くし、浴室や脱衣室、ファミリークロークを広くに確保した。

玄関に入るとすぐ、繊細な組子の欄間が目も惹く。これは、奥さん夫妻が大川組子の職人を探し、2カ月ほど通って製作を依頼したものの、神社や旅館などに用いられる伝統の技は、息を呑むほどに美しい。また、玄関左手の引手には縁起が良いと伝わる瓢箪型の引手を取り入れるなど、細部までこだわった住まいとなっている。また、天井や床には日本の気候風土に最適な無垢材がふんだんに使われており、心身ともにリラックスできる。



料亭や旅館を彷彿させる純和風の玄関。スペイン漆喰の白といぶし瓦、無垢材のコントラストが絶妙